

【ハッピーかるがもクラブ】

《活動内容》

☆毎月、季節に合わせた壁面を作成し、神戸大学附属病院の周産期センターに持っていき、壁面の交換を行います。



☆年に1度(9月頃)、神戸大学附属病院にて行われる「ハッピーかるがもの会」とは、超低出生体重児(1000g未満)で生まれ、NICUを卒業した乳幼児とその親御さんや兄弟が集まって成長を喜び合う会です。私たちは、そのイベントで子どもたちが楽しめるような企画を考え準備をしたり、会場に飾る壁面をたくさん作って会場を盛り上げたりするボランティアを行っています。(昨年は簡単な手洗いの講義も行いました)

《10月6日に行われたハッピーかるがもの会の様子》

今年は、「フルーツ畑」というテーマで、学生主体の企画を考えていきました。イベントまでは、学年それぞれで役割を分担し、子どもに人気のキャラクターとフルーツをかけあわせた壁面を作成したり、歌やダンスの練習をしたり、当日参加するお子さんの手形をとって撮影する写真をセットで持ち帰ることができるしおりを作成したりして、準備を進めていきました。

当日プログラムでは、幼児期の子どもでも楽しく踊れるダンスや手遊び歌を参加者と一緒に楽しみました♪兄弟で参加されている子もいて、ニコニコ笑顔で仲良く踊っている姿にとっても温かい気持ちになりました。

私は、今年で3回目のハッピーかるがもの会に参加しました。昨年、参加されていたご家族さんもいらっしゃるし、1歳だった子が2歳になり、ハイハイしていた子が元気に走り回っている様子を見て、すくすく成長している姿にとってもほっこりしました。また、親御さん同士で育児についての話や、お子さんの自慢話、おでかけのおすすめスポットなどの情報交換を行うグループトークの中に、3、4年生も入って話を聞かせていただきました。このような場を設けることで、親御さんたちは育児の中でうまれた疑問や喜びを共有でき、看護師としても親御さんの思いを知ることで今後の支援につなげていけるのではないかと感じました。

この会を通じて感じたことや学んだことを、これから臨床の場でも生かしていきたいと思いました。

保健科学部看護学科4年 小牧 愛美

